

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第30週 (ARIのみ第29週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (30 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、百日咳 28 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	なし
		都城	70歳代	男	肺結核	咳、痰
		日向	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
4類	レジオネラ症	高鍋	60歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	50歳代	女	—	ショック、腎不全、全身性紅斑性発疹
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	40歳代	男	AIDS	発熱、咳嗽 【指標疾患】ニューモシスティス肺炎

	疾患名	報告 保健所	報告数	年 齢 群						症 状	
				0～4歳	5～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代		50歳代
5類	百日咳	宮崎市	15例		2	9	1		1	2	持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、その他
		延岡	2例			2					
		日南	5例			3	1	1			
		高千穂	2例		1	1					
		日向	2例			2					
		中央	2例		1	1					

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 30 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 522 人(定点当たり 27.2)で、前週比 110%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナであった。

また、第 29 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,320 人(定点当たり 47.1)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 282 人(10.1)で、前週比 212%と増加した。年齢群別は 20 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

【伝染性紅斑】

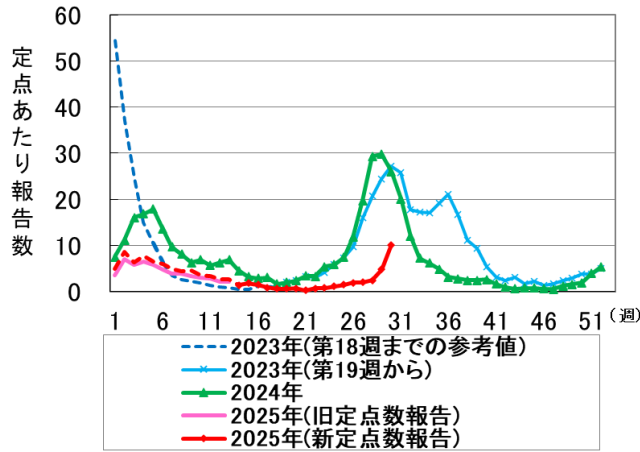
報告数は 39 人(2.6)で、前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.5) の約 5.6 倍であった。年齢群別は 2 歳から 7 歳が全体の約 8 割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は 49 人(3.3)で、前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.5) の約 0.9 倍であった。年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 9 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

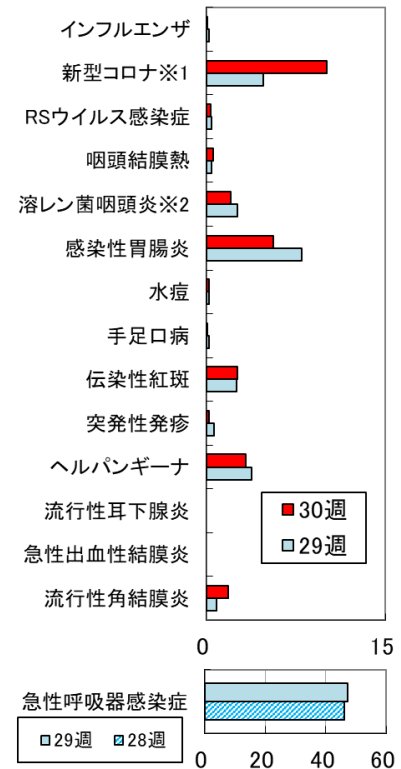
新型コロナウイルス感染症 発生状況



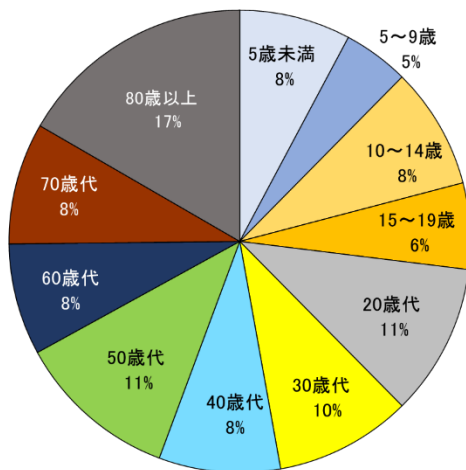
※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週
～第 18 週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

《前週との比較》



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第 30 週)

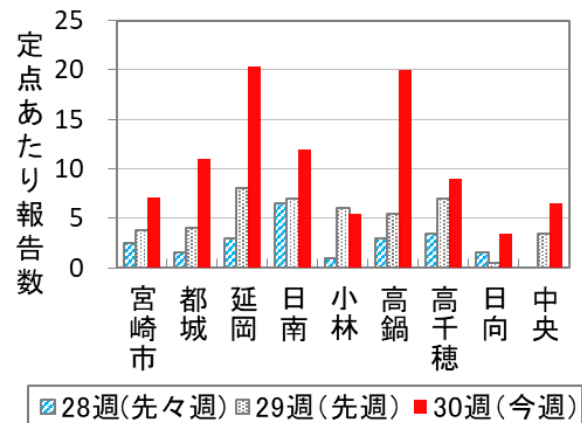


定点あたり報告数

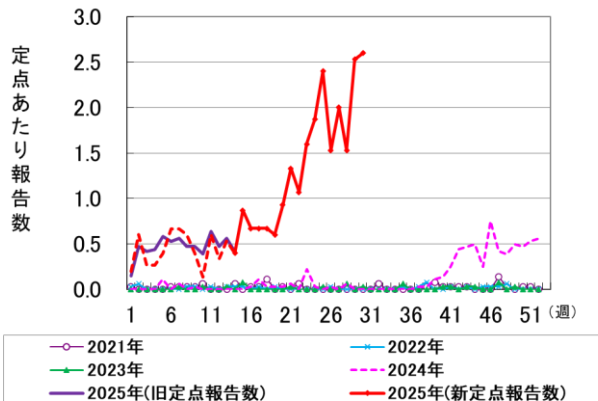
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)

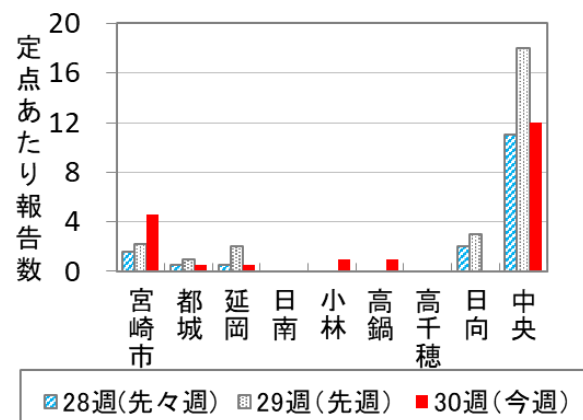


伝染性紅斑 発生状況

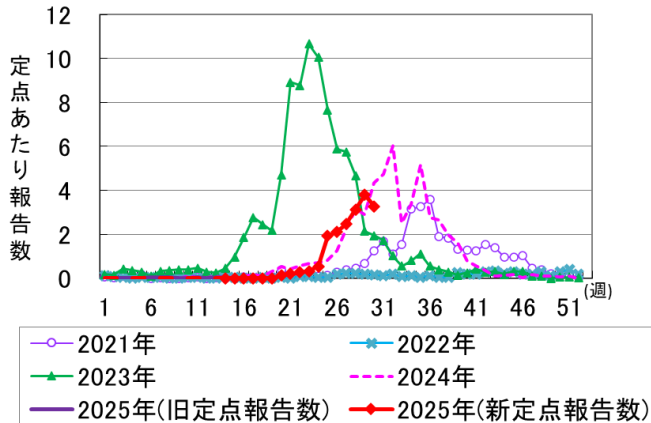


※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移(3 週分)

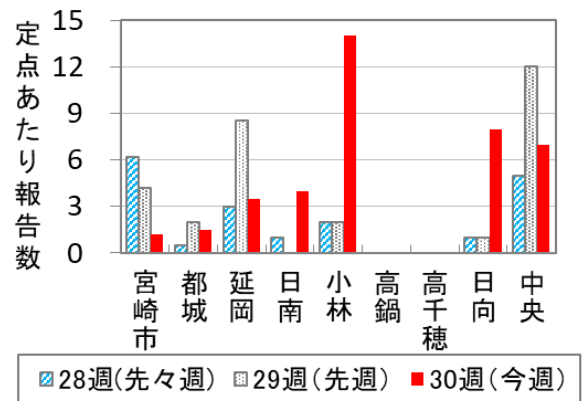


ヘルパンギーナ 発生状況



※2025 年（新定点数報告）の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

ヘルパンギーナ 保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 2 例（定点当たり 0.3）で、宮崎市（1 例）、日南（1 例）保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳が 1 例、10～14 歳が 1 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(4.6)
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(3.0)
小林	ヘルパンギーナ(14.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	ヘルパンギーナ(8.0)
中央	伝染性紅斑(12.0)、ヘルパンギーナ(7.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル
基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

（2025 年第 29 週：7 月 14 日～7 月 20 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		1
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			11
受付検体数			14

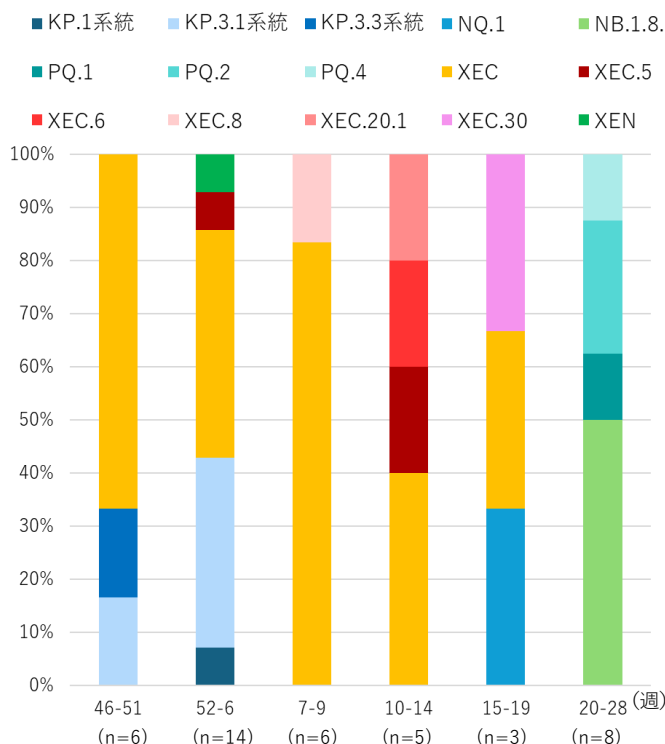
○ 急性呼吸器感染症（ARI）※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※¹ 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※² 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○ 第20-28週はNB.1.8.1が50%、PQ系統が50%であった。

NB.1.8.1はJN.1株とXDE株の組換え体であるXDV株から派生した変異株である。また、PQ系統は、NB.1.8.1の下位系統である。

※ 衛生環境研究所においては、宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、急性呼吸器感染症（ARI）の病原体定点から提出された検体を用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を実施している。

なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

全国 2025 年第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	247 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	148 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	チクングニア熱	1 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	9 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	30 例
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	13 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	31 例
	水痘（入院例）	13 例	梅毒	188 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	3908 例	麻しん	6 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 12,069 人(3.1)であった。沖縄県(17.6)、鹿児島県(6.5)、熊本県(5.6)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

伝染性紅斑の報告数は 4,881 人(2.1)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.5)の約 4.0 倍であった。山形県(5.9)、栃木県(4.7)、秋田県(4.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7	3		1				2			
	定点当り	0.25	0.11	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	133	282	64	44	61	24	11	40	18	7	13
	定点当り	4.75	10.07	7.11	11.00	20.33	12.00	5.50	20.00	9.00	3.50	6.50
RSウイルス感染症	報告数	6	5			4	1					
	定点当り	0.40	0.33	0.00	0.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	9	4	1		3		1			
	定点当り	0.40	0.60	0.80	0.50	0.00	3.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	39	31	16	4	3			6	2		
	定点当り	2.60	2.07	3.20	2.00	1.50	0.00	0.00	6.00	2.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	120	84	17	11	6	7	16	2	2	19	4
	定点当り	8.00	5.60	3.40	5.50	3.00	7.00	16.00	2.00	2.00	19.00	4.00
水痘	報告数	3	3	3								
	定点当り	0.20	0.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	1									1
	定点当り	0.20	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	38	39	23	1	1		1	1			12
	定点当り	2.53	2.60	4.60	0.50	0.50	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	12.00
突発性発しん	報告数	10	3		1		1					1
	定点当り	0.67	0.20	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	57	49	6	3	7	4	14			8	7
	定点当り	3.80	3.27	1.20	1.50	3.50	4.00	14.00	0.00	0.00	8.00	7.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	11	5	1	5						
	定点当り	0.83	1.83	1.67	0.50	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	2	1			1					
	定点当り	0.14	0.29	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第29週 (07月14日～07月20日)

		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1291	1320	364	134	212	88	152	62	96	111	101
	定点当り	46.11	47.14	40.44	33.50	70.67	44.00	76.00	31.00	48.00	55.50	50.50

ARI定点 : 28、小児科定点 : 15 (ARI定点を兼ねる)、眼科定点 : 6、基幹定点 : 7

● 全数把握対象疾患累積報告数 (2025年 第1週 ～30週 保健所受理分)

2類感染症	結核	74例(3)				
	腸管出血性大腸菌感染症	10例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	13例
	レジオネラ症	5例(1)				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13例(1)	後天性免疫不全症候群	3例(1)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	18例	水痘(入院例)	2例
	梅毒	82例	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	1例
	百日咳	1,228例(28)				

()内は今週届出分、再掲